

# わが町の家庭教育学級

## 只見町教育委員会

表1 昭和51年度 家庭教育学級開設状況

学級の名称	朝日乳幼児学級	只見家庭教育学級	明和若いミセスの級
実施機関	朝日公民館	只見公民館	明和公民館
開設場所	同上	只見総合開発センター	同上
開設期間	51.7~52.3	51.4~52.3	51.6~52.1
対象者	3歳未満の乳幼児を持つ親	3歳以上就学前の幼児を持つ親	30歳未満の若いミセス
学級生の数	32名	37名	35名
学習予定時数	22時間	21時間	21時間
経費	90,000円	60,000円	60,000円

一、はじめに

只見町は、昭和四十五年から昭和六十年まで、三年間ローリング方式による、長期振興計画の第二次振興計画に基づいて社会教育を推進している。

家庭教育は、人間形成の基本にかかわる重要な役割を果たすものであるといわれている。

地域の家庭教育の現状や住民の学習欲求等を分析し、町財政状況等を考慮して、第一次振興計画に引き続き乳幼児期の家庭教育の振興・充実を図るため、今年度は前年度までの実績と反省を生かし、継続して表1のとおり

表2 朝日乳幼児学級学習計画

月	学習課題	学習内容	学習方法	時間
7 (出)	・開講式 ・わが子の幸せを	・開講式 ・乳幼児期の望ましい家庭教育はどうあるべきか(成長のときをのがさないで)を考える。	・講義と話し合い	2.0
7 (中)	・乳幼児期の家庭教育	・家庭教育上のなやみについて個別に相談(県「家庭教育巡回相談事業」)	・個別相談 ・講義	2.0
7 (下)	・じょうぶなからだに	・健康な体についての認識 ・乳幼児の生活のリズムと運動機能 ・おこりやすい病気やけがなどの予防と治療について	・講義	2.0
8	・ともだちあそび	・友達遊びの重要性について ・ことばの成長を基礎とする社会性、知恵の発達について	・講義と話し合い	2.0
9	・赤ちゃんの離乳食	・離乳と離乳食について	・講義と実習	3.0
11	・おもちゃの与え方	・発達段階に応じたおもちゃのえらびかた、与え方。 ・おもちゃの手づくり	・講義 ・経験発表と実習	2.0
12	・成長する心	・心的成長と育てかたについて考える。	・講義	2.0
52 1	・じょうずなほめかた ・たしかりかた	・しつけにおけるじょうずなほめかたしかりかたを考へる。 ・反抗に対する親の態度	・話し合い	2.0
2	・環境と成長	・乳幼児をとりまく家族とその役割 ・望ましい性格形成と環境とのかわりあい	・講義と話し合い	2.5
3	・ひとりのできるよ ・閉講式	・自立の心や習慣をどう育てたらよいか考へる ・学習の反省と評価 ・これからの学習活動をどうすすめるか(グループづくりへ) ・閉講式	・話し合い	2.5

乳幼児期の家庭教育に関する内容を中心とした学級を三学級開設して、その充実に努めている。

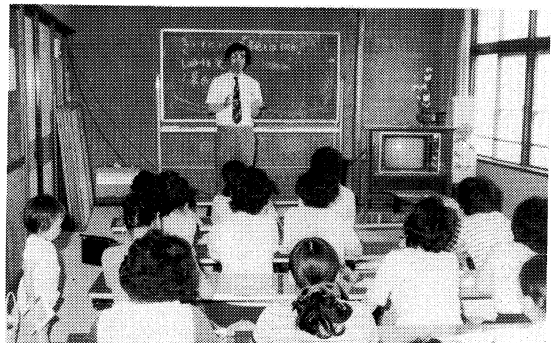
次に、学級の状況の一端を紹介したい。

### 二、学級の状況

#### (1) 実施機関は各地区公民館で

只見町は、昭和三十四年八月、旧伊北村・朝日村・明和村の三か村が合併して誕生した町である。

地理的、気象的諸条件等を考慮し、地域社会教育活動推進の中心施設として、各地区ごとに独立公民館を設置しており、開設学級のすべてが、この施設を生かしてすすめられている。



熱心に学習に取り組む朝日乳幼児学級